

[講演要旨] 歴史上に起きた三陸沖、および宮城県沖地震の震度・津波浸水高分布の特徴

都司嘉宣・行谷佑一 (東大地震研)・伊藤純一 (株 ANET)

平成 17 年 8 月 16 日に宮城県東方沖に発生した地震の震度分布,津波の分布を文久元年(1861),天保 6 年(1835), および享保 2 年(1717)の各宮城県沖地震の震度分布と比較してみた. 過去に起きた宮城県沖地震としては, 寛政 5 年(1793), 明治 30 年 (1897), 明治 33 年(1900), および昭和 11 年(1936)の各年のものが知られている.

